ゆずりはの森から

第86号
2009年4月1日発行

NPO法人
ゆずりは学園

小学生
中学生
高校生
大学生
社会人

辞めても後悔がなかったよ

「ママさん、高校を卒業させてくれてありがとう。前の高校を辞めても後悔がなかったのも、高校生活を楽しめたのもママさん達、スタッフ達のおかげだと感謝しています。ゆずりは学園最高です。これからは社会人として頑張っていきます」高校2年の夏、私の家によく泊まりに来た子でした。海外にも一緒に行きました。フィリピンの明るい空の中で過ごしました。

「学校生活は本来楽しいところであるはずです。」式辞の中で私が言った言葉です。前の学校生活が楽しければ彼らと私との出会いはありませんでした。

丸刈り問題で弁護士会が動いた沖縄県のニュースが出ていましたが、この愛知県でも忘れ物をすると丸刈り、試合に負けると丸刈り、点数が悪いと丸刈り、部室にはいつもバリカンが用意されていて先輩がやるよと言った高校の実態、みんなの前で殴られたり、英語がわからないと「できるまで立っとれ」と1時間中立たされ、追試の結果「お前のような馬鹿はこの学校の恥だ」と授業中に言われ、教師の気分で行われる授業、「先生の人格を疑う」高校に嫌気を感じて辞めた子など、この学園に来るまでに子どもたちが味わった苦しみは教師の対応に関する問題も多かったと思います。

始バスに乗っても

「始バスに乗っても間に合わないところでしたから」とお母さんが式の後に話してくれました。本当に遠くからの通学でした。母と子が意見の合わない時は途中で豊橋で降り彼が学園に来なかった日もあります。お母さんと話をして時期を待つことを勧めたこともありました。仲間の中にはなかなか入れない時もありましたが、一人一人とキャッチボールをするようになっていきました。今、彼は就職へと向かっていきます。長い高校生活からの出発です。

無口な少女でした。何を聞いても「え?」と考えのモードに入って返事はありません。入学式に登山しましたが、父親と一緒に登るのですが、途中途中で休んでしまいます。普通なら30分で森のスクールの頂上に到達するのですが4時間かかって降りてきた少女です。少しずつお母さんとの距離を離し、一人登校になり海外へも初めて6日間も家族と離れ、日常生活もお母さんの手から自分でやれるようになってきて・・・癒黙の少女が話すと止まらないほど話せるようになって専門学校へと出発です。

お父さんにこの花束を

「ママさん、俺お父さんにこの花束を渡したい」彼が小さい時、離婚した母親が今日の式には出席とのこと。父親が彼をずっと育ててきました。「なぜ、今まで放っておいてこんな時にだけ出てくるんだろう」と言った彼。そんな彼が母親に花束を渡す瞬間は笑顔でした。憎んではいるけど心の奥そこでは母を恋しい18歳の少年が青年へと変化する瞬間の母を思う一瞬だったのかも知れません。離婚という悲しい気持ちをひきずってこの高校を卒業していく生徒たちは多いです。彼はまだ母が来ましたが、実の母の今の存在を探し求めても、知ることのできない生徒もいます。家族が家族であることは難しい大人への責任です。

今ここに生きて立っている

一人の女性からのメッセージです。「ママさん、パパさん卒業式が済んだのですね。私はママさん、パパさん、スクールのスタッフ、そして友達みんなから力をもらって今こうしてここに生きて立っています。みんなにありがとうって言いたいです。忘れていたこと、当たり前だと思っていたことをもう一度考え直せることができました。一人ではない、みんながいる。最近では本当に小さなことにでも幸せだねって言うようにしました。ママさんパパさんありがとう。これからはどんなに辛いことがあっても、しっかり生きるよ。でも地下まで潜っちゃったらまたママさんのとこに泣きごと言いに行ってもいいですか?」

卒業の形でいろいろな子がここを出ていきます。高校の3年間の思春期を乗り越えることは、一人では難しい時があります。「ママさん、助けて、ママさん苦しい、ママさんどうしたらいい」子どもたちの心の中は家族には言えない本音がいっぱいあります。いじめられても家族には言いません。殴られても家族には言いません。いじめで自殺する子はまだまだ減りません。誰でもいい、誰かが傍にいてくれたら、彼らは助かる・・・こうして書いていても私自身、一人の子の自殺を止められなかった・・・知人の精神科の医師が言いました。「医師も救えない命はあります」それでも、彼女の遺影に卒業証書を届けた苦しみは大きいです。

みんなの森づくり事業

この緑は財団法人都市緑化基金と花王株式会社が生活の身近な場所に緑豊かな環境をつくりだすことを目的に実施している「花王 みんなの森づくり活動助成」の支援を受けています。

平成21年3月
NPOゆずりは学園

NPO法人 ゆずりは学園 会員募集

ゆずりは学園は、不登校・ニート・ひきこもり・精神的問題等をかかえた子どもから大人までの対応に関する事業行い、人々の社会的自立と健全育成の増進に寄与することが目的です。賛同・協力していただける会員の方々を募りたいと思います。

- ●正 会 員 年会費／5千円
- ●賛助会員 年会費／2千円
- ●寄　　付／自由

三菱東京UFJ銀行（普）田原支店
□座名義／ゆずりは学園
理事　沓名智彦
□座番号／3627714

※お便りを郵送します。
お名前・ご住所をご連絡ください。

〈お問い合せ・連絡先〉
ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL0531(22)3515　FAX0531(22)7761
http://www.geocities.jp/ikenohara21/
クツナ先生のカウンセリング日記　ブログ更新中
http://kutsuna.wablog.com/